

プレスリリース

2008年2月7日

真空対応、石英リフレクター付赤外線ヒーターを開発

光エネルギー光源専門ランプメーカー：ヘラウス・ノーブルライト社（本社・ドイツ、ハーナウ市、代表取締役社長 ライナー・キュヒラー）は真空対応石英リフレクター付赤外線ヒーターを開発した。国内販売はヘラウス株式会社（本社・東京都港区、代表取締役社長 土屋淳）が取扱う。

この赤外線ヒーターは反射板の役割をする特殊石英製反射材と赤外線ヒーター本体である石英ガラスが一体となっており、現在真空炉内で使用されている水冷式反射板が不要となる。

弊社では従来ヒーター本体の石英ガラスに金の反射膜を塗布し、反射板一体型とした金反射膜付赤外線ヒーターを生産しているが、この金反射膜は反射率90%と非常に高くエネルギー効率が良いが、ガラス管外側へ塗布しているため真空中では昇華してしまい使用ができなかった。開発した石英リフレクターはヒーター本体の石英ガラス管上へ石英ガラスをベースとした反射コーティングパウダーを塗布、焼結する。この反射コーティングは従来の金反射膜と比較し反射率が75%と劣るものの真空炉内で使用されているステンレス反射板の反射率50%より高い。また基本材質は石英ガラスのため耐熱性が1200℃と高く、耐化学特性に優れている。このためこの反射コーティングに対する水冷等の保護機構は不要であり、経年熱劣化による特性変化はない。そのため加熱装置のコンパクト化及びエネルギー効率の改善が可能である。真空雰囲気での使用のほか、常圧高温雰囲気下、酸化／アルカリ雰囲気下での使用に特に適している。

ヘラウス株式会社では2月27日から東京ビッグサイトで行われる「PV EXPO2008 国際太陽電池展」で国内初展示、紹介を行う。

ヘレウス・ノーブルライト社

ドイツ、ハーナウ市に本社を置き、米国、英国、フランス、中国、オーストラリア及びプエルトリコに子会社を有する特殊光源メーカーです。2007年には、年間売上約9,000万ユーロを計上し、総従業員数は660人を有します。当社の赤外線ヒーター及び紫外線ランプなどの製品は、工業用製品、環境保護、研究開発や分析実験室などのアプリケーションで幅広く使用されています。

ヘレウス・ホールディング社

(日本法人: ヘレウス株式会社 www.heraeus.co.jp)

ドイツ、ハーナウ市に本社を置くヘレウス・ホールディング社は、155年以上の歴史を有するグローバルリーディングカンパニーの1社です。高温技術を駆使した貴金属の素材、工業用センサー、歯科及び医療用製品、石英ガラス、そして特殊光源をお客様に提供しています。世界に100以上の子会社と関連会社、総従業員数11,000人を有し、2007年には貴金属を除いた売上を30億ユーロ、及び貴金属による売上を90億ユーロ以上計上しています。詳しくは当社のホームページ www.heraeus.com をご覧下さい。

【参考資料】



石英リフレクター付赤外線ヒーター

本件に関するお問い合わせ先

ヘレウス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ
〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 OAG ハウス 4 階
Tel: 03-3589-0410 / Fax: 03-3589-0427
info.hkk@heraeus.com